

不定期掲載

さわやかな復興のうた

『芋煮』を知る秋

東北のソウルフードか？ 争いの火種か？

震災のあった2011年の秋、RQ河北VCでは「木曜日
は仮設住宅を訪ねて芋煮の日」という支援活動を行っ
ていました。(2011年霜降朔日号)

秋の東北に思いを寄せるとき、必ず登場する単語が
「芋煮」あるいは「芋煮会」。TVニュースなどで、河川
敷で行われる大規模な芋煮会の映像をご覧になった
方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

芋煮会(いもにかい)とは、日本の
主に東北地方で行われる季節行事で、
秋に河川敷などの野外にグループで
集まり、サトイモを使った鍋料理
などを作って食べる行事である。

呼称には地域差があるが、ここでは総称として「芋煮」
「芋煮会」という呼称を用いる。(wikipediaによる解説)



we support!
RQ
災害教育
センター

MONTHLY

「東北に黒糖を送ろうー! 大作戦しんぶん」改め
復興支援「すけさきた」しんぶん
かわけばん

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

OCTOBER
11
2013

芋煮に類する料理地図

(凡例)
料理の名前
(野外料理会の名前)
メイン食材/味付け



写真：山形市観光協会

(ちなみに写真のような大掛かりな芋煮会
では、毎年新品のショベルカーを購入→
機械油を食用油に替えて使用→使用後
は廃車→再整備→新古車として売る、
という流れになっているそうです。)

コンビニで薪が売られ、スー
パーで鍋の貸し出しが始まると、
東北の人は「秋の訪れを感じる」
といえます。地域行事の底力を
またひとつ教えられた気がします。

山形新聞 2013.9.6. 第48045号

炊き出し訓練に芋煮会スタイル

来月、東京で防災イベント 山形市など協力
器具持ち寄り800人分調理

山形の秋の風物・芋煮会のスタイルを炊き出し訓練に活かす。10月11日(土)に東京・有明コロシアムで行われる「防災イベント」に、山形市などから協力する。山形市では、10月11日(土)に「芋煮会」を開催する。このイベントでは、山形市などから協力する。山形市では、10月11日(土)に「芋煮会」を開催する。このイベントでは、山形市などから協力する。



福島第一、福島第二、各除染作業は各地から作業員が来ているため芋煮については完全中
立の立場を貫きたいと思います。東京電力殿、各元請殿、環境省殿主催での芋煮会を強く
望みます。

音楽イベント『風とロック芋煮会』について、主催の箭内彦彦氏は以前「これはフェスで
はない! 芋煮会だ!」と仰ってました。事実、初回の風とロック芋煮会には、全てのフェ
スのオファーを断ったのに「フェスじゃなくて芋煮会だから」との理由で出演したアーテ
ィストがいっぱいいました。

震災の時、宮城では各家庭に常備されていた芋煮用ポリタンクが活躍したことは想像に難
くない。

東日本大震災で宮城から山形へ避難した方々が地元山形の住民から誘われた芋煮会で「宮
城と山形は隣なのに全然違う」って戸惑ってる様子を震災関連の番組で見たなあ

本当は山で採れたキノコと捕獲したヤマドリを入れるのが最高 #芋煮戦争 @今は諸般の
事情により...